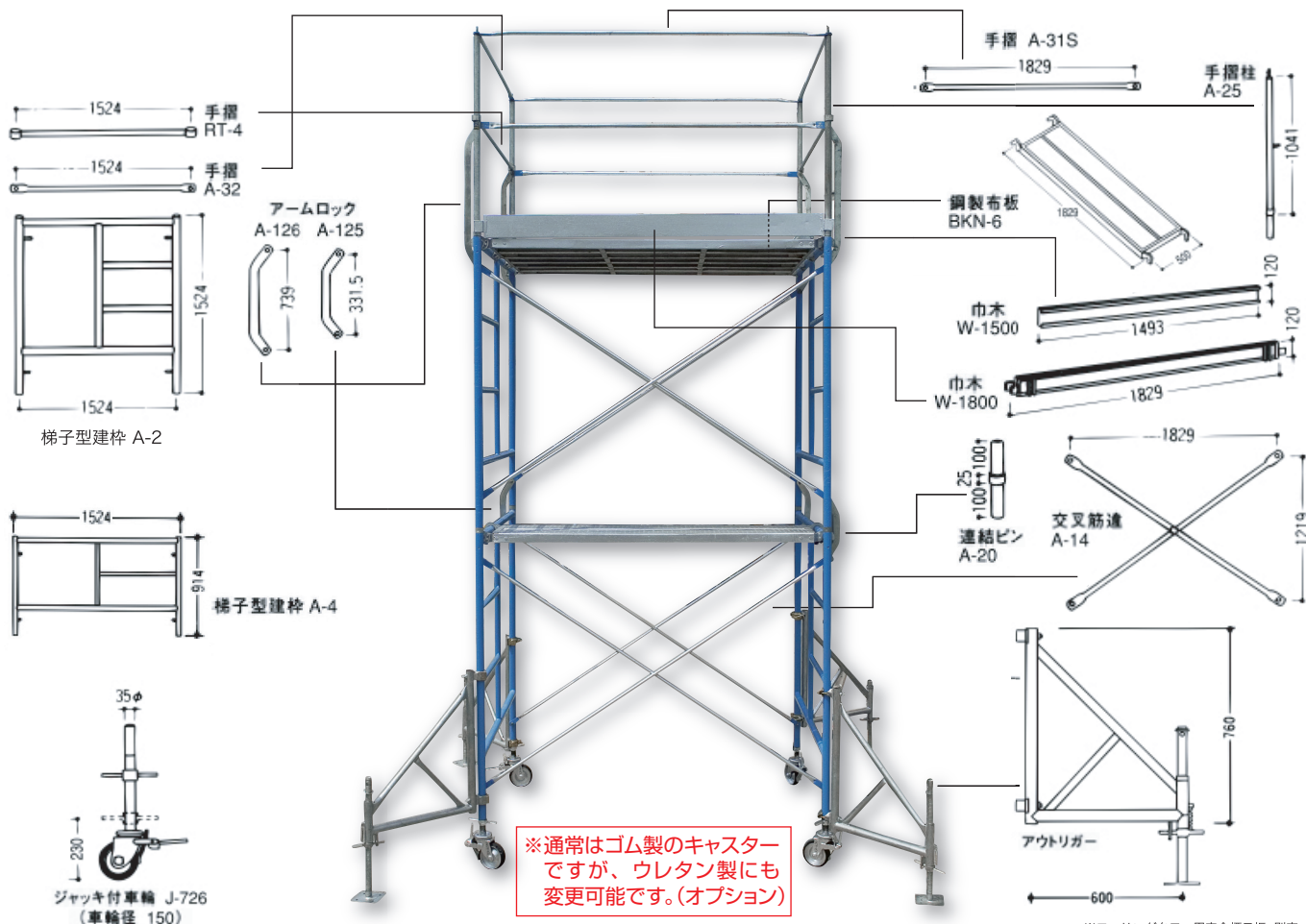


ローリングタワー

本社 京滋

※必ず天板を水平に保った状態でご使用ください。



※通常はゴム製のキャスターですが、ウレタン製にも変更可能です。(オプション)

※建枠、布板とも各種サイズ展開可能です。

※ローリングタワー用安全標示板 別売

一般構造用炭素鋼管 JIS G 3444

外径	厚さ	単位重量	断面積	断面二次モーメント	断面二次半径	断面係数
42.7mm	2.4mm	2.39kg/m	3.04cm ²	6.19cm ⁴	2.90cm	1.43cm ³

ローリングタワー使用上の注意

- 作業は作業主任者又は作業指揮者の指示によりおこなうこと。
- 作業床の積載荷重は250kg (2.45kN) 以内とする。
- 作業時、移動時、昇降時、降下時、作業床は使用中に揺動しないよう確実に固定する。
- 作業床から高さ90cm以上の手すり、高さ35cm以上50cm以下の中間手すり及び床面から10cm以上の巾木を有すること。
- 作業は必ず平坦な場所で行い、作業床を水平に保持すること。
- 作業員が乗ったまま移動してはならない。
- 脚輪のブレーキは移動中を踏き、常にロックさせておくこと。
- 作業床には梯子、脚立等を使用しない。
- 転倒の恐れがあるときは、転倒防止策(アウトリガー等)をとること。

会社名
作業主任者

ビティ式ローリングタワーは、認定基準に合格した製品を使用し、安全技術基準に準じて組立てることができます。

積載荷重

積載荷重 (Wkg) は、作業床 (Am²) に応じて次の式によりえられた値とする。A ≥ 2 のとき W = 250kg A < 2 のとき W = 50 + 100A

脚輪

- 車輪の直径は 125mm 以上とする。
- 主軸は脚柱に対して、かん合性が良好で容易に離脱しない機能を有するものとする。

使用高さ及び脚輪間隔

- アウトリガーがない場合 脚輪(キャスター)の下端から作業床までの高さ(H)と移動式足場の外かくを形成する脚輪の主軸間隔(L)とは次の式を満足するものとする。 $H \leq 7.7L - 5.0 \dots (1)$
 - アウトリガーを有する場合(図-1) アウトリガーを有する構造の移動式足場においては(1)式に於けるLの値を次の式により得られる値とすることができる。 $L = A + 1/2(B_1 + B_2)$
- 例) A-2の場合 枠幅 1.524 × 7.7 - 5.0 = 6.7348 (4段以上はアウトリガーの取付対象)
- 例) A-4055Bの場合 車輪幅 1.219 × 7.7 - 5.0 = 4.3863 (2段以上はアウトリガーの取付対象)

強度

- 作業床の床板に対しては、200kg/m² の等分布荷重
- 交差筋かい、水平交差筋かい、連けい板およびこれらの取付部に対しては、100kg の主軸荷重。
- 脚輪に対しては、200kg 主軸荷重。

昇降設備

- はしご：踏さんの長さが 30 cm 以上、かつ、踏さんの間隔が 40 cm 以下で等間隔であるはしご。[A-2(建枠)は基準に合格]
- 階段：こう配が 50 度以下、かつ幅が 40 cm 以上である階段。

防護設備

作業床の周囲には、高さ 90 cm 以上の丈夫な手すり、中さんおよび高さ 10 cm 以上の幅木を設けるものとする。

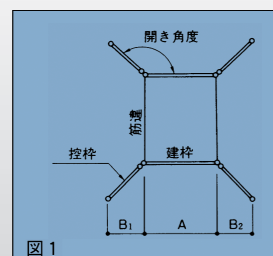


図 1